



Chairil Cabaret program: doc. Teater Garasi / Garasi Performance

セゾン・アーティスト・イン・レジデンス ヴィジティング・フェローによるトーク

Open Up The Spectrum: インドネシアの次世代の舞台芸術の最新状況

2019年10月18日(金) 19:00-20:30 / 森下スタジオ(東京都江東区森下3-5-6) / 参加無料

インドネシアのBPAFの共同創設者で、ドラマトゥルクとして活動するタウフィック・ダルウィスによるトーク。インドネシア・ダンスフェスティバル、シアター・ガラシ／ガラシ・パフォーマンス研究所のキャバレー・ハイリル・プログラム等を事例に、インドネシアの次世代のアーティストの表現や活動状況を紹介します。

■ 申込方法: Email または電話でお申し込みください。

Email: Taufik2019@saizon.or.jp 電話: 03-5624-5951(森下スタジオ受付:10:00-21:00)

- * 件名を、「10月18日パブリック・トーク申込み」とし、本文に ①お名前②職業
- ③参加人数④連絡先⑤このイベントをどのようにお知りになったかをご記入ください。

■ 森下スタジオへのアクセス

- 地下鉄都営新宿線、都営大江戸線「森下駅」A6出口 徒歩5分
- 東京メトロ半蔵門線、都営大江戸線「清澄白河駅」A2出口 徒歩10分



タウフィック・ダルウィス Taufik Darwis

バンドゥン芸術大学で舞台芸術を学ぶ。その後、バンドゥンを拠点にフリーのドラマトゥルクとして活動し、アーティスト・コレクティブ、BPAF(バンドゥン・パフォーマンス・アート・フォーラム)を共同で設立。2016年からインドネシア・ダンスフェスティバル(IDF)の共同キュレーターを、また、ジョグジャカルタのシアター・ガラシ／ガラシ・パフォーマンス研究所のキャバレー・ハイリル・プログラムのゲスト・キュレーターを務める。TPAM - 国際舞台芸術ミーティング in 横浜 2018 で初来日し、アジア・ドラマトゥルク・ネットワークに参加。国際交流基金アジアセンターが主催するネクスト・ジェネレーションのメンバーとして、TPAM 2019にも参加した。Asia Hundreds(国際交流基金アジアセンター)にインタビュー記事が掲載されている。<https://jfac.jp/culture/features/f-ah-tpam2019-taufik-darwis/>

セゾン・アーティスト・イン・レジデンスには2019年10月16日から11月18日まで滞在し、日本の次世代のアーティストの活動に着目したりリサーチを行う。

